

## ○貸借対照表を勘定式で帳票表示させる場合の設定方法（e-Tax ソフト（WEB 版））

財務諸表のCSV形式データの作成に当たり、e-Tax で定めるレコードの内容及び留意事項に沿って作成したCSV形式データについては、e-Tax ソフト等にて帳票形式で表示することができます。財務諸表の帳票形式は「報告式」での表示になりますが、貸借対照表については、所定の規則に基づき作成したCSV形式データは、e-Tax ソフト（WEB 版）にて「勘定式」で表示されます。

貸借対照表を e-Tax ソフト（WEB 版）にて「勘定式」で帳票表示する場合は、以下の設定規則に基づき CSV形式データを作成してください。

### 【設定規則】

- 1 CSV形式データ内に、「資産の部※」及び「純資産の部※」のコードを各1つずつ「階層番号」を「2」で設定すること。
- 2 CSV形式データ内に、「階層番号」が「2」で設定されたコードが、「資産の部※」、「負債の部※」、「純資産の部※」及び「負債純資産※」のコード以外設定されていないこと。
- 3 CSV形式データ内に、「資産の部※」、「負債の部※」、「純資産の部※」及び「負債純資産※」の各コードが、それぞれ2つ以上設定されていないこと。

※各コードに枝番を付したコードも含みます。また、原則 23 業種それぞれのコードで設定が可能ですが、「電気事業」の「負債及び純資産の部」のコード「22B000010」を階層番号「2」で設定している場合は、勘定式では表示されません。

### 【勘定式で表示できる設定例】

勘定科目	金額等	行区分	階層番号	勘定科目コード
貸借対照表				
資産の部		T	2	10A000010
流動資産合計	100000	1	3	10A101160
固定資産合計	200000	1	3	10A200020
繰延資産合計	300000	1	3	10A300080
資産合計	600000	1	3	10A000020
負債の部		T	2	10B000010
負債合計	200000	1	3	10B000020
純資産の部		T	2	10C000010
純資産合計	400000	1	3	10C000030
負債純資産	600000	1	2	10C000040

赤枠内：「資産の部」及び「純資産の部」のコードを各1つずつ「階層番号」「2」で設定（設定規則 1）

赤枠内+青枠内：「資産の部」、「負債の部」、「純資産の部」及び「負債純資産」のコードのみ「階層番号」を「2」で設定（設定規則 2）

【勘定式で表示できない設定例】

勘定科目	金額等	行区分	階層番号	勘定科目コード
貸借対照表				
資産の部		T	2	10A000010
独自科目	200000	1	3	10A000010-1
~~~~~				
資産合計	600000	1	2	10A000020

青枠内：「資産の部」、「負債の部」、「純資産の部」及び「負債純資産」のコード以外のコードの「階層番号」を「2」で設定（設定規則2）

赤枠内：「資産の部」及び「「資産の部」に枝番を付した」コードを重複して設定（設定規則3）